

15日 木曜

哀歌

4:11 【主】は憤りを出し尽くし、燃える怒りを注ぎ出された。主はシオンに火を放ち、火はその礎を焼き尽くした。

4:12 地の王たちは信じていなかった。世界に住むすべての者も。仇や敵がエルサレムの門に入って来るとは。

4:13 これはその預言者たちの罪、祭司たちの咎のためである。彼らは、その町のただ中で、正しい人たちの血を流した。

4:14 彼らは血で汚れ、目の見えない人のように街頭をさまよひ、だれも彼らの衣に触れることはできなかった。

4:15 「向こうへ行け。汚れた者」と人々は彼らに叫ぶ。「向こうへ行け。向こうへ行け。さわらな。」彼らは、立ち去って、なおもさまよひ歩く。国々の中で人々は言う。「彼らは二度とここに寄留してはならない」と。

4:16 【主】ご自身が彼らを散らされた。もう彼らに目を留められることはない。祭司たちは尊ばれず、長老たちは敬われなかった。

4:17 そのうえ、私たちの目は衰えていき、助けを求めたが、空しかった。私たちは、救いをもたらさない国に期待をかけ、見張り場で見張りをしたのだ。

4:18 私たちの歩みはつけ狙われて、広場を歩くこともできなかった。私たちの終わりは近づいた。私たちの日は満ちた。私たちの終わりが来たのだ。

4:19 私たちを追う者たちは、大空の鷲よりも速かった。山々の上まで追い迫り、荒野で私たちを待ち伏せした。

4:20 私たちの鼻の息、【主】に油注がれた者が、彼らの落とし穴で捕らえられた。私たち



は「この方の陰なら、国々の中でも生き延びられる」と思っていた。

4:21 ウツの地に住む娘エドムよ、楽しみ喜べ。だが、あなたにも杯は巡って来る。あなたは酔って自分の裸をさらす。

4:22 娘シオンよ、あなたへの刑罰は果たされた。主はもう、あなたを捕らえ移すことはなさらない。だが、娘エドムよ、主はあなたの咎を罰し、あなたの罪を暴かれる。

エレミヤは預言者として正しく神の言葉を語りましたが、民は迫害しました。滅びの宣告や罪を告発があったからです。民は耳障りの良いことばだけを受け入れることが多かったので、ある預言者や祭司たちはそのような、人間本位の内容をあたかも神の御心のように語ったのでした。その結果として「正しい人たちの血」が流れることとなりました。

神の言葉として語るときには責任があります。私たちは新約聖書によれば「選ばれた民」であり「新約の祭司」ですから、自分の主張をあたかも神の御心のように語ることがないように気をつけなければなりません。

霊的指導者の目が曇ることによって、イスラエル全体の「目が衰えて」ゆき、「救いをもたらさない国」すなわちエジプトに望みをかけるようになってしまいました。その結果としてバビロニアから敵をみなされて滅ぼされたのです。

教会の指導者である牧師、教師、役員、リーダー、スポンサーはもちろんのこと、新約の祭司であるクリスチャンみなが正しく神のことばを語りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

